

令和6年6月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,817億円（対前年同月比2.0%の減少、比率ベース：2カ月ぶりの減少）、輸入総額は1,072億円（同9.5%の減少、2カ月ぶりの減少）であった。差引額は745億円（同11.3%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「科学光学機器」、「プラスチック」などが増加したものの、「原動機」、「加熱用・冷却用機器」、「二輪自動車類」などは減少した。
輸入は「がん具及び遊戯用具」、「絶縁電線及び絶縁ケーブル」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「無機化合物」、「金属加工機械」などは減少した。

地域別では、輸出は「アメリカ」、「EU」が減少、「アジア」は増加した。輸入は「アジア」、「EU」が減少、「アメリカ」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,817億円	▲2.0%	1,072億円	▲9.5%	745億円	+11.3%
	2カ月ぶりの減少		2カ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 科学光学機器	162億円	+25.9%	輸入	増加品目	(1) がん具及び遊戯用具	62億円	+36.7%
		(2) プラスチック	72億円	+50.2%			(2) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	51億円	+17.2%
		(3) 重電機器	78億円	+33.3%			(3) アルミニウム及び同合金	30億円	+20.5%
	減少品目	(1) 原動機	193億円	▲32.9%		減少品目	(1) 液化天然ガス	53億円	▲53.9%
		(2) 加熱用・冷却用機器	55億円	▲18.4%			(2) 無機化合物	2億円	▲89.1%
		(3) 二輪自動車類	153億円	▲7.2%			(3) 金属加工機械	1億円	▲94.5%
主要地域増減	アメリカ、EUが減少、アジアは増加			主要地域増減	アジア、EUが減少、アメリカは増加				

（参考）ドルレートは、156.64円（前年同月比12.5%、17.4円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したものの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	13億円	+25.1%	25億円	▲32.3%	▲12億円	▲55.1%
	2ヵ月ぶりの増加		2ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 写真用・映画用材料	6億円	2.6倍	輸入	増加品目	(1) とうもろこし	17億円	+9.9%
		(2) 精油・香料及び化粧品類	72百万円	+37.0%			(2) 有機化合物	5億円	+30.6%
		(3) 無機化合物	78百万円	+21.0%			(3) 無機化合物	62百万円	+26.1%
	減少品目	(1) 電気計測機器	1億円	▲23.5%		減少品目	(1) 木材及びコルク	—	全減
		(2) 有機化合物	1百万円	▲97.4%			(2) パルプ	1億円	▲54.0%
		(3) 金属鉱及びくず	3億円	▲4.2%			(3) 金属製品	—	全減
主要地域増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少				主要地域増減	アメリカ、EUが減少、アジアは増加			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	436億円	+15.6%	15億円	▲29.0%	420億円	+18.3%
	3ヵ月連続の増加		3ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	271億円	+14.5%	輸入	増加品目	(1) 調製石油添加剤	6億円	+88.2%
		(2) 自動車の部分品	60億円	+70.2%			(2) 金属製品	13百万円	8.6倍
		(3) 無機化合物	8億円	+43.6%			(3) 有機化合物	2億円	+6.6%
	減少品目	(1) 二輪自動車類	8億円	▲35.3%		減少品目	(1) 鉄鋼	5億円	▲58.9%
		(2) 原動機	6億円	▲36.6%			(2) 粗鉱物	—	全減
		(3) 運動用具	18百万円	▲93.1%			(3) 木製建具及び建築用木工品	1億円	▲26.4%
主要地域増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少				主要地域増減	アジアが減少、EUは増加			

4. 静岡空港

輸出入実績なし